



9 24 いつまでも元気でね 百歳の長寿を祝って祝謝状を贈呈

今年度新たに満百歳を迎える山本實さん（大和）、及川キミエさん（弥生）の3人に対して、総理大臣から感謝状が送られ、植田町長が一軒一軒を回って本人に手渡しました。

毎日日記をつけ、また老人クラブの会合には欠かさず出席しているという山本さんは「長生きの秘訣は、体を動かすことです。今は、普段どおりの生活ができることが幸せです」と話しました。

また、家庭菜園作りが趣味の池田さんは「好き嫌いなく何でも食べることが長生きの秘訣だと思えます。今があるのは、支えてくれる家族や地域の皆さんのおかげです」と話していました。

9 27 1日のはじまりはあいさつから 街頭あいさつ運動

秋の交通安全運動期間の街頭啓発運動に合わせて、町PTA連合会が、あいさつ運動を実施しました。

最終日のこの日は、雨がちらつく中でのおあいさつ運動になりましたが、PTA連合会の役員をはじめ、児童委員や教員が「元気にあいさつ笑顔でおはよう」と書かれたのぼりを掲げて、登校中の児童生徒に大きな声であいさつをしていました。





9 3 モチモチした食感 給食に米粉パン登場

給食に米粉で作ったパンが提供されました。これは、お米の消費拡大と地産地消を進めるための試みの1つで、原材料には新十津川産のななつぼしが使用されています。

米粉パンが給食に登場するのは初めてとあって、児童たちは「いただきます」と同時に、一斉にパンをほお張りしました。

5年生の川股圭佑くんは「モチモチしていて、味が濃くて、おいしかった。また食べてみたいです」と話していました。

また、米粉パンを製造した伊豫田製菓(砂川市)の伊豫田康二さんは「米粉の良さを生かしながら、パンのおいしさに近づけるのに苦労しました。まだまだ納得できる出来あがりではありません」と、今後の改良に意欲を示していました。

9 27 夜光反射材で防犯と交通安全を

町安全・安心推進協会の会員ら170人が参加して、たきかわ文化センターで「ピカッと3万人キャンペーン」の発足式が行われました。

このキャンペーンは、自動車に「パトロール中」と書かれた反射プレートを貼り付けて防犯意識を高めるとともに、歩行者がキーホルダー状の反射材を身に着けることで交通事故を防止する取り組みです。

発案者の見野滝川警察署長は「このキャンペーンを通じて、もっともっと安心で安全なまちにしましょう」とあいさつをしました。



9 5 町の隠れた魅力を探る

町の隠れた魅力を知り、今後のまちづくりや自治会活動に役立ててもらおうと、町内をバスで巡る「町内探訪」が開かれ、32人の町民が参加しました。

バスは菊水公園や玉置神社跡、上総進小学校跡など、身近にあればこそ見過ごしてしまいがちな場所を巡り、植田町長と佐川副町長がそれぞれについて丁寧に説明しました。

参加者からは「生まれ育った所なのに、何も知らない所ばかりでした。とても良かったです」との声が聞こえました。

